

図－6 2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、717箇所について超音波検査(肉厚測定)等を実施した。
＜超音波検査(肉厚測定):705箇所、内面目視点検:4箇所、内面目視点検および超音波検査:8箇所＞
○2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査(肉厚測定)部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の 点検対象部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1,357	523
その他部位	1,126	182
合 計	2,483	705

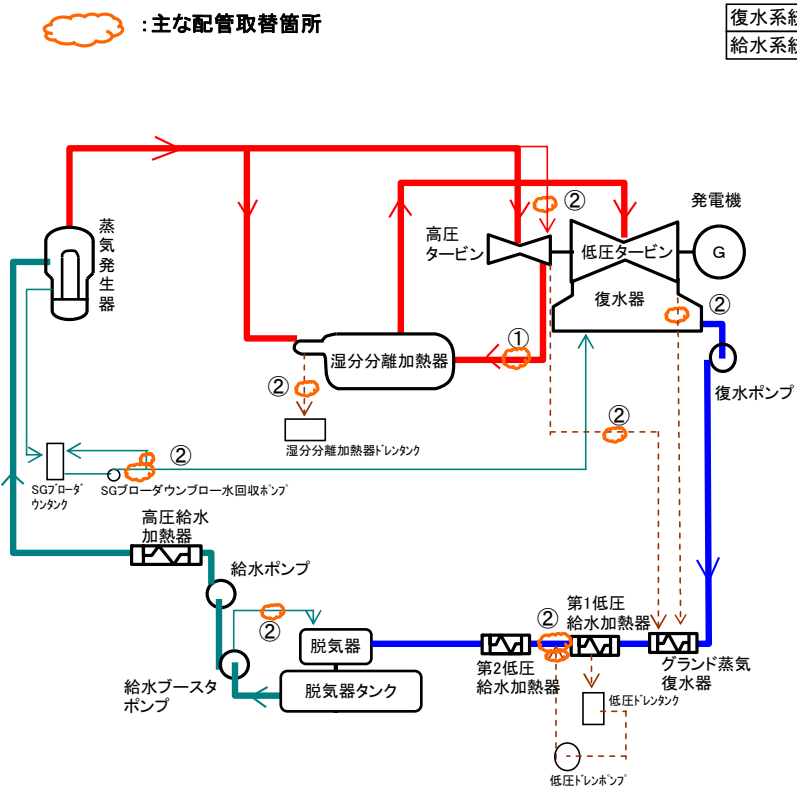
○2次系配管肉厚の管理指針に基づく内面目視点検
高圧排気管の直管部12箇所について、配管内面から目視点検を実施した結果、8箇所の配管内面に減肉が認められたため、超音波検査(肉厚測定)を実施した。

(結果)
必要最小厚さを下回っている箇所、および次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があるとして評価された箇所はなかった。

取替概要

過去の点検において減肉が確認された部位1箇所、保守性を考慮して取り替える部位133箇所、合計134箇所を炭素鋼または耐食性に優れたステンレス鋼もしくは低合金鋼の配管に取り替えた。

系統別概略図



復水系統	主蒸気系統
給水系統	ドレン系統

【取替理由】

- ① 過去の点検結果で減肉が認められているため計画的に取り替えた箇所 (1箇所)
 - ・必要最小厚さとなるまでの期間が10年以上の箇所
 - 炭素鋼 ⇒ 炭素鋼 1箇所
 - ② 配管の保守性*1を考慮して取り替えた箇所 (133箇所)
 - 炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼 95箇所
 - 炭素鋼 ⇒ 低合金鋼 38箇所
- 合計 134箇所

* 1 狭隘部で肉厚測定がしづらい小口径配管などについて取り替えた。